



生命の教育…SDGs！



今年の生命の教育で扱った題材は、「プラスチックごみ」についてです。1学期の観劇でも、同様のテーマの劇を鑑賞して、児童たちはゴミが私たちの住む地球や自然に与える影響について考えました。今回は、同じテーマですが実際の様子について、県環境課の職員の方に来ていただき、10月11日木曜日に、低・高学年に分かれて学習しました。

説明では、私たちの日常生活の中にあるプラスチックにはどんなものがあるのかということから始まり、それがどうやってゴミとなって、どのような影響が地球や自然・生物に出るのかということ、詳しく説明してもらいました。そして、峡南地域を流れる富士川は、下流のずっと遠い静岡県の海水浴場や駿河湾につながっていて、その証拠に、そこで見つかるゴミの中には、残念ながら山梨から流れていったと分かるものがたくさんあることを知りました。持ってきていただいたスーツケースの中には、海や川で、実際に流れ着いたり拾われたりしたゴミが集められて展示されており、それを見た子どもたちからも驚きの声が上がりました。

学習後、「プラスチックは目に見えないくらい小さなマイクロプラスチックゴミとなって、それを食べた魚を食べる人間にも健康被害が出ることを初めて知りました。」

と、感想を持つ児童もいて、一層、環境問題を考える機会となりました。みんなで、気をつけていきましょう。



県内めぐり…4年生が甲府へ！

10月14日木曜日には、南北小合同学習で、4年生の県内めぐりが行われました。3回ある合同学習の2回目でした。甲府市の県庁防災新館と県立科学館に行ってきました。防災新館では、自然災害やその時どう行動するかについて、たくさんの方から伺いました。また、1階のジュエリーミュージアムに行き、県の特産品である水晶の宝飾品を見たり、石を使ってアクセサリーを作りました。帰校してすぐに見せてくれましたが、とても素敵なストラップでした。また科学館では、プラネタリウムを見たり、北小の友だちと施設内で遊んだり、お弁当を仲良く食べたりして、楽しく勉強になった一日でした。



租税教室！…大切な税の学習…



大人になれば、国民の義務として払わなくてはならない「税金」について、10月13日火曜日に6年生が楽しく学びました。今回は、県税理士会のご協力により、初めてのオンライン学習会でした。

まず、税の種類にはどんなものがある、私たちの暮らしの中でどのように使われているのかということ、を学習しました。子どもたちが「税」を実感する機会としては、消費税が最も身近だと思いますが、社会が成り立っていくためには、「税金」はとても大切なものだということについて、分かりやすく説明していただきました。「税金にはたくさんの種類があるなあ!」「税金で、私たちの暮らしが支えられているんだ!」と、それぞれが、大切な学習をしました。

